

# 立命館大学「チャレンジふくしま塾」 活動報告



2018年3月11日  
いのちのつどい基調報告

# ①概要 ～背景～

福島県庁と立命館との協定に基づく、今年度よりスタートした単年プログラム。  
16名の学部生・院生から構成される。



現地での視察・フィールドワーク



関西での座学



情報発信

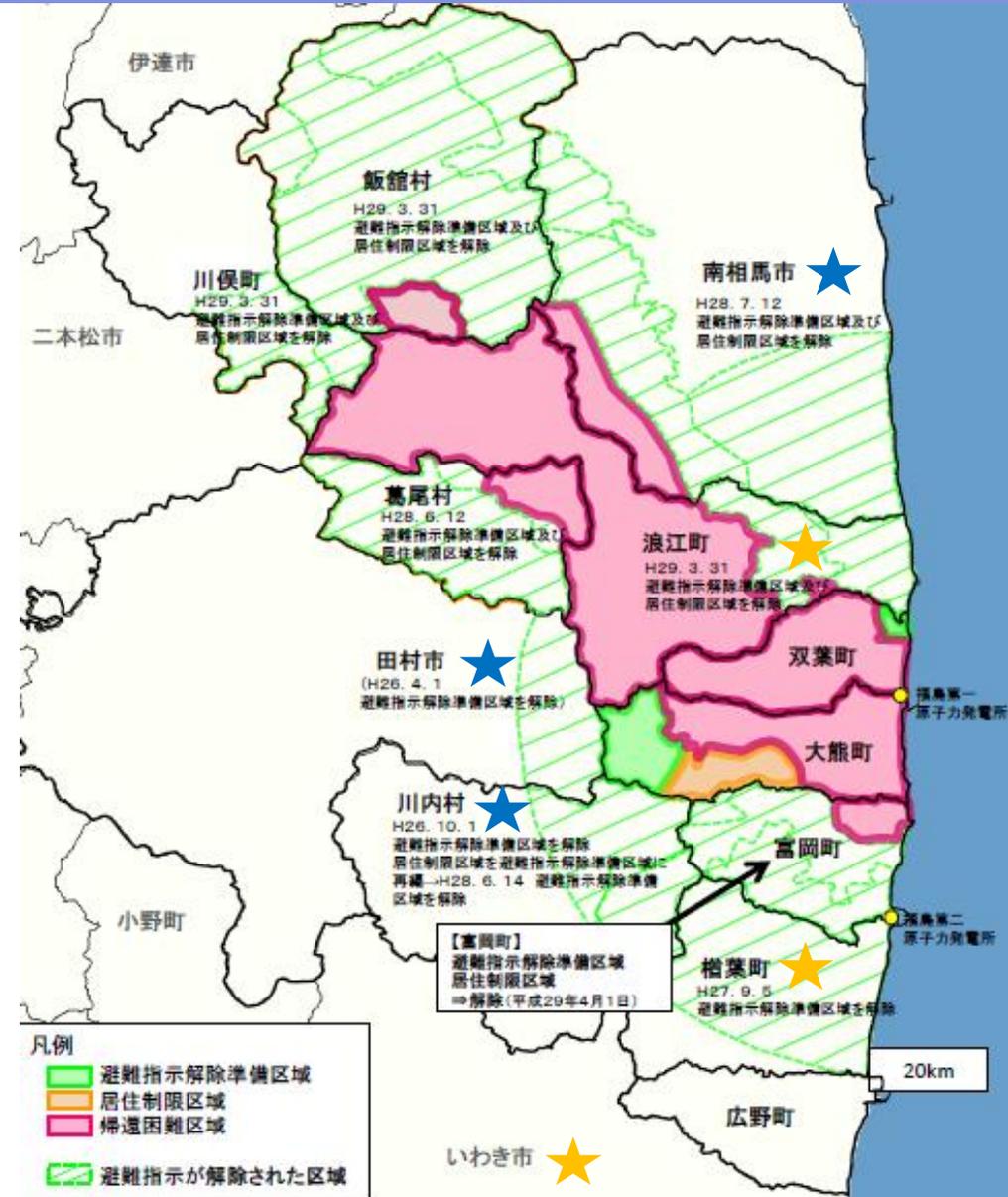
# ①概要 ～福島県について～

## 震災直後の避難指示と避難指示解除について

2011年	3月11日	原子力緊急事態宣言発令
	3月12日	国が半径20km圏内に避難指示
	3月15日	国が20～30km圏内に屋内退避指示
	4月22日	避難区域策定
2014年	4月1日	田村市が避難指示解除
	10月1日	川内村が避難指示解除
2015年	9月5日	楡葉町全域が避難指示解除
2016年	6月12日	葛尾村一部が避難指示解除
2016年	7月12日	南相馬市一部が避難指示解除
2017年	3月31日	浪江町一部・飯舘村一部・川俣村が避難指示解除
	4月1日	富岡町一部が避難指示解除

★ 第1回視察訪問地(7/1～2)

★ 第2回視察訪問地(9/13～15)

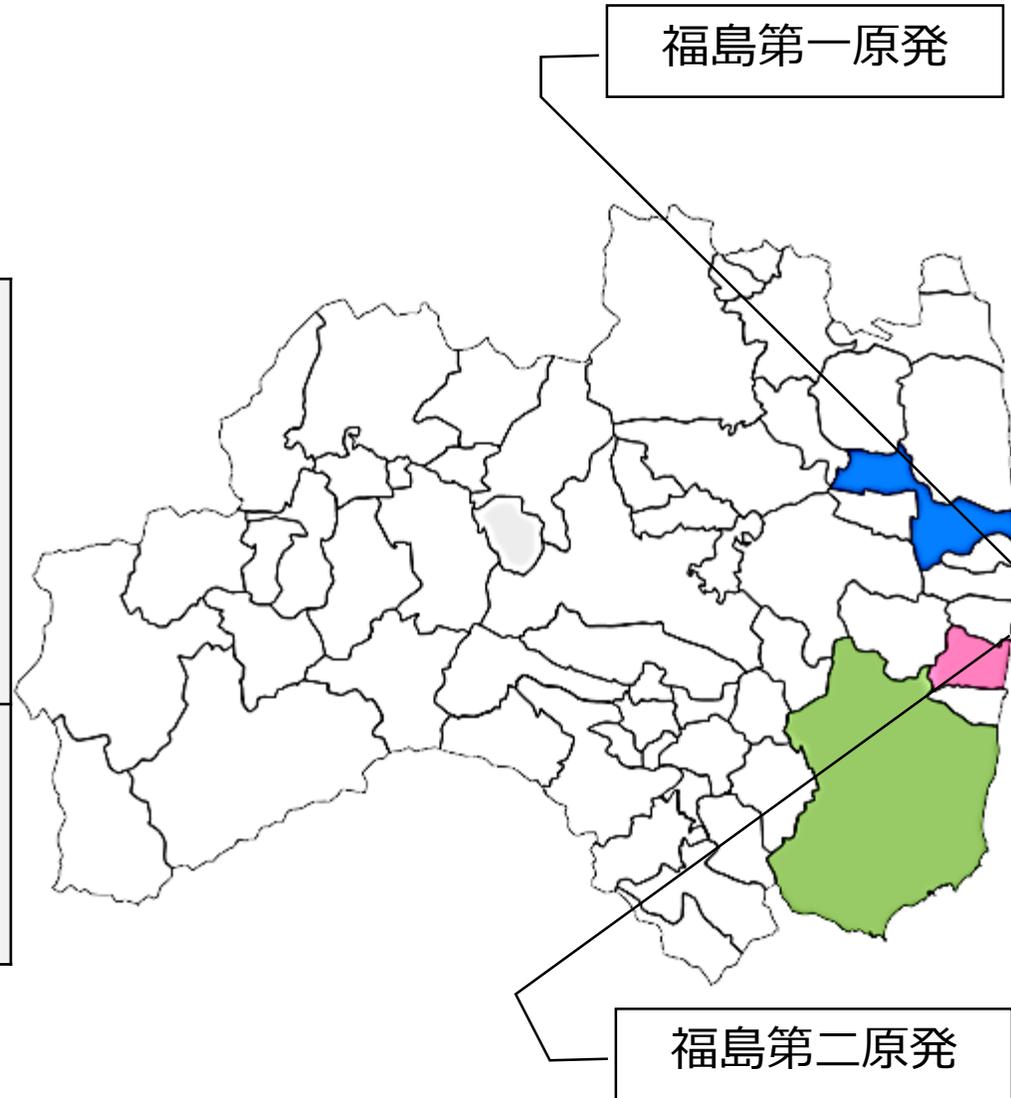


# ②現地視察 ～第1回目 2017/06/30-07/03～

《目的》 震災の現状を理解する

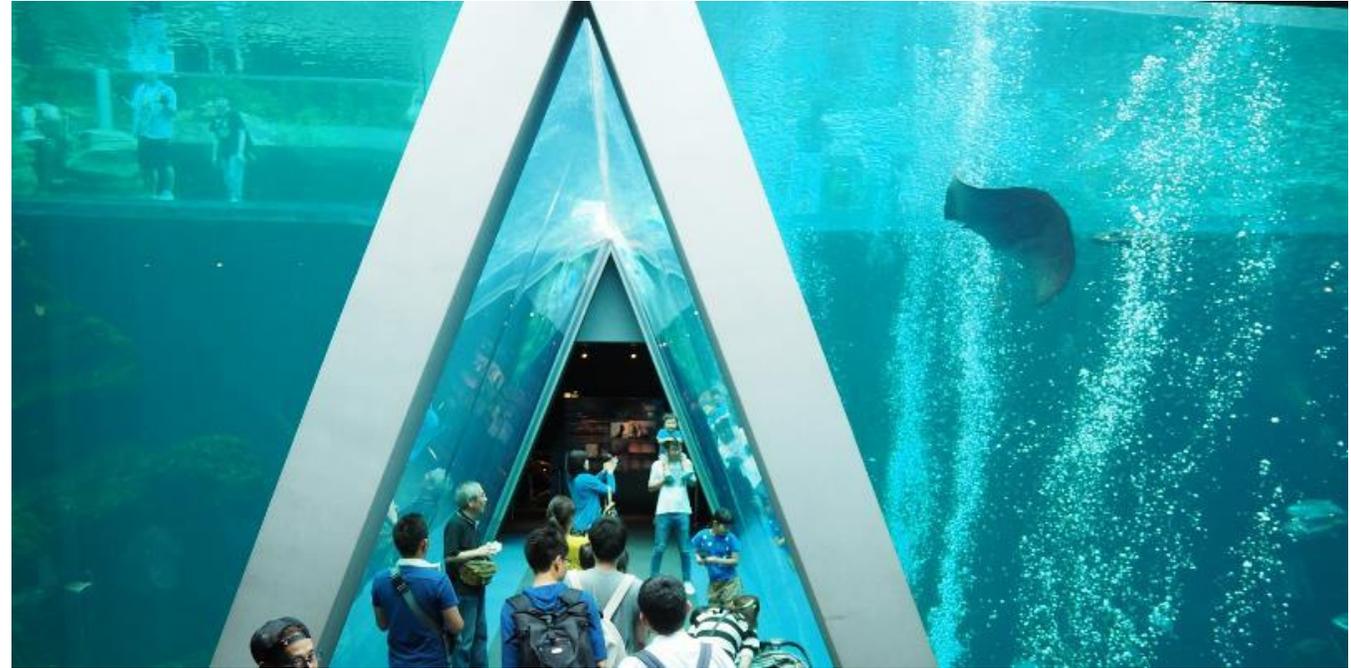
## ■訪問先

7月1日 (土)	<b>いわき市</b> <ul style="list-style-type: none"><li>環境水族館アクアマリンふくしま</li></ul> <b>楢葉町</b> <ul style="list-style-type: none"><li>一般社団法人ならはみらい</li><li>楢葉町役場</li></ul>
7月2日 (日)	<b>浪江町</b> <ul style="list-style-type: none"><li>浪江町役場</li><li>NPO法人JIN</li></ul>



# ②現地視察 ～第1回目 2017/06/30-07/03～

## ■環境水族館 アクアマリンふくしま



“リーダーシップ”

“チームワーク”

“絆・協力・援助”

で再オープン、風評被害解消へ

# ②現地視察 ～第1回目 2017/06/30-07/03～

## ■ 檜葉町役場



**「もう6年、まだ6年」  
「まちづくり」のまえに「人づくり」**

# ②現地視察 ～第1回目 2017/06/30-07/03～

## ■ NPO法人JIN



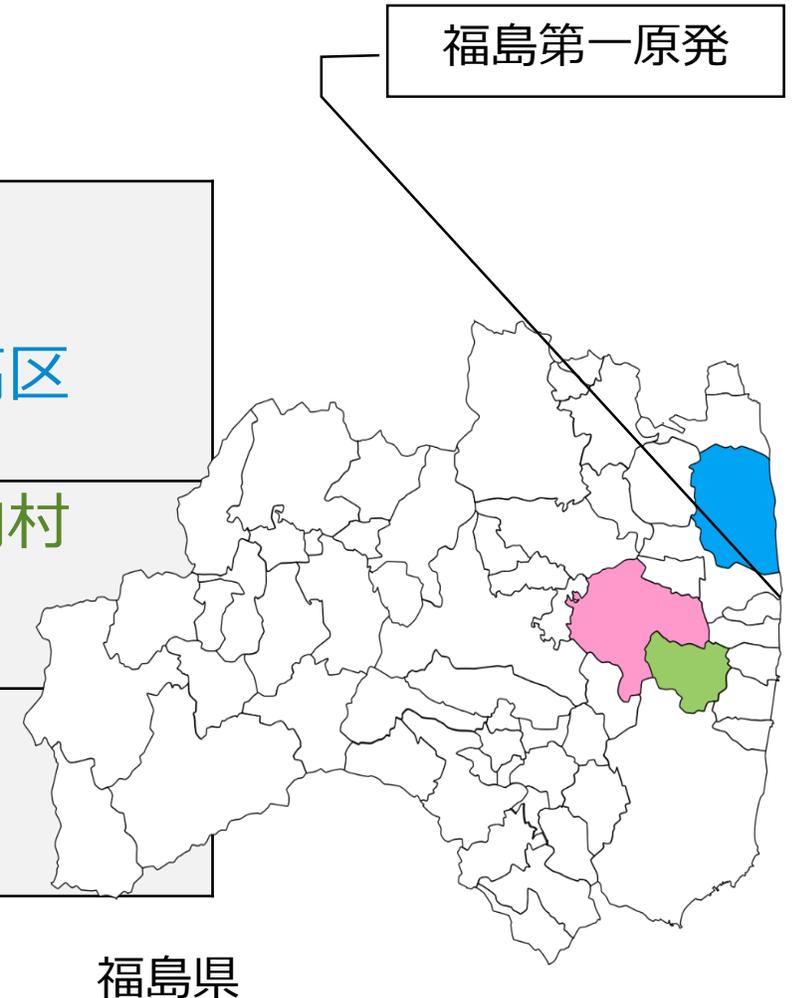
「農業を始めるまたとないチャンス」  
「浪江を花の町に、魅力ある地域に」

# ②現地視察 ～第2回目 2017/09/13-09/15～

## 《目的》 Fukushimaに住む方々の想いを知る

### ■ 訪問先

9月13日 (水)	<ul style="list-style-type: none"><li>絆診療所 @南相馬市鹿島区</li><li>福興浜団 @南相馬市原町区</li><li>小高ワーカーズベース @南相馬市小高区</li></ul>
9月14日 (木)	<ul style="list-style-type: none"><li>農業生産法人 緑里 (ミドリ) @川内村</li><li>田村市復興応援隊 @田村市都路町</li></ul>
9月15日 (金)	福島県知事表敬訪問



# ②現地視察 ～第2回目 2017/09/13-09/15～

## ■福興浜団 上野敬幸さん

津波で、ご家族4人を失う。  
未だ2人の行方が分かって  
いない状況。

「みんなが笑い合えるところに」  
「震災は忘れてもいい  
残して欲しいのは“教訓”だけ」

言葉の重み



# ②現地視察 ～第2回目 2017/09/13-09/15～

## ■絆診療所 遠藤院長

多くの繋がりを断ち切ったのが、  
東日本大震災。

再びこの町につながりを作るた  
めに絆診療所で仕事をする。

**町民に寄り添う姿**



# ②現地視察 ～第2回目 2017/09/13-09/15～

## ■知事表敬訪問

震災以降、多くの「つながり」が失われた。  
震災を経験された方のお話を聞いて  
「つながり」という言葉の重みを感じた。



**つながりの大切さ**



# ③事後活動

## 学びから発信へ

### ◆オール立命館校友大会2017

→活動報告のポスター展示

→ふくしままっぷクイズ など

→福島県庁と協力したブース展示



### ◆学園祭(11/26びわ湖草津キャンパス・12/3衣笠キャンパス)

→郷土料理(マミーすいとん・なみえ風焼きそば)の提供

→福島の現状を伝えるパンフレットの配布 など

### ◆3.11追悼企画「いのちのつどい」

→1年間の活動についての基調報告

→ポスター展示

→3/9プレ企画・交流会における郷土料理、日本酒等の提供



# ④感想

●震災以降「光と影」の二つの側面をもっていること。

⇒ その両方を伝えることが大切。

●ふくしまで起こった災害は決して他人事ではない。

⇒ 教訓を生かし、防災意識を高めることが重要。

●ふくしまの方々の温かさ、ふるさとに対する強い想い。

**今後、ふくしまの方々の想いを多くの人につないでいきたい。**

